

# 平成 24 年度胆振管内観光入込客数の状況について

平成 25 年 7 月 26 日  
北海道胆振総合振興局

## 1 概要

平成 24 年度の観光入込客数は 13,800.2 千人で、前年度(13,457.6 千人)と比べて 342.6 千人増加(前年度比 102.5%)しました。平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災の影響により大幅に観光入込客数が減少した前年度からは持ち直しましたが、平成 22 年度(14,840.4 千人)との比較では、1,040.2 千人の減少(平成 22 年度比 93.0%)となっており、東日本震災前の水準までには回復していない状況にあります。

### (上期)

上期の観光入込客数は 8,562.5 千人で、前年度同期(8,119.7 千人)と比べて 442.8 千人の増加(前年度同期比 105.5%)となり、2 年ぶりに増加に転じました。

東日本大震災から 1 年を経過し、観光客が戻り始めたことや、夏場を中心におおむね好天が続いたことなどから、観光入込客数は増加し、また外国人観光客も大幅に増加しました。

なお、震災発生前の平成 22 年度上期(観光入込客数 9,241.3 千人)と比較すると、678.8 千人の減少(平成 22 年度同期比 92.7%)となっています。

### (下期)

下期は、前年度同期と比較して観光入込客数が増加した市町はあったものの、管内全体としては、道外からの観光入込客数が伸び悩み、観光入込客数は 5,237.7 千人と前年度同期(5,337.9 千人)と比べて 100.2 千人減少しました。冬期の大雪など悪天候の影響などがその要因の一つと推測されます。

なお、平成 22 年度下期(観光入込客数 5,599.1 千人)と比較すると、361.4 千人の減少(平成 22 年度同期比 93.5%)となっています。

### (道外・道内別)

道外・道内別では、道外観光客は 4,159.6 千人(構成比 30.1%)で前年度比 106.8%、道内観光客は 9,640.6 千人(構成比 69.9%)で前年度比 100.8%となっており、道外客、道内客ともに前年度より増加しています。

### (日帰り・宿泊別)

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は 11,341.7 千人(構成比 82.2%)で前年度比 102.1%、宿泊客数は 2,458.5 千人(構成比 17.8%)で前年度比 104.8%となっています。また、宿泊客延べ数は 2,689.2 千人で、前年度比 106.4%となりました。

### (月別)

月別では、上期は 4 月が道内・道外観光客いずれも前年度に比べて大きく増加(前年度同月比 124.9%)したほか、5 月以降も前年度同月以上の入込客数となっています。4 月の増加は、東日本大震災からの持ち直しによるものと考えられます。

一方、下期は、2、3 月が前年度同月比プラスで推移しましたが、12 月、1 月については、それぞれ前年度同月比 94.4%、90.0%と減少しています。

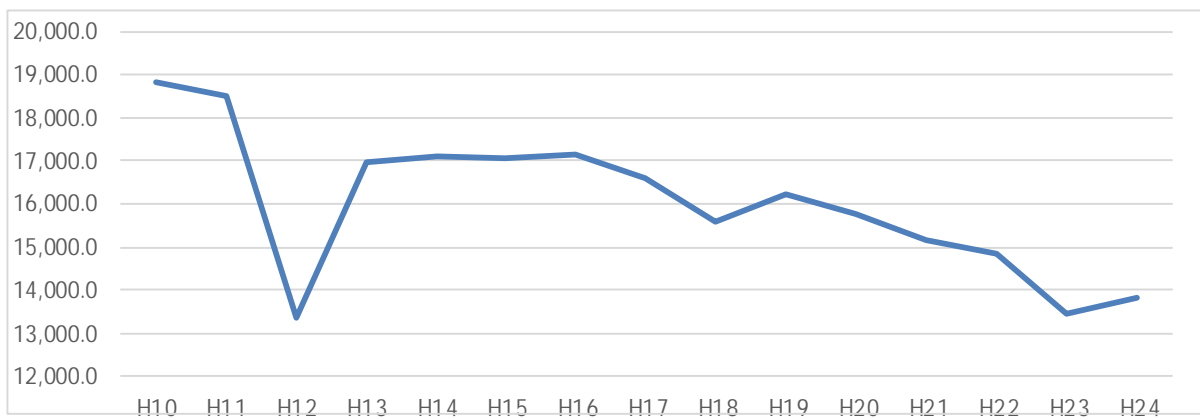
【参考1】平成24年度胆振管内観光入込客数内訳

(単位：千人、%)

区 分		平成24年度観光入込客数		対前年度比	前年度からの増減数	備考
			構成比			
道内・道外別	道外客	4,159.6	30.1	106.8	266.0	
	道内客	9,640.6	69.9	100.8	76.6	
日帰り・宿泊別	日帰り客	11,341.7	82.2	102.1	230.5	
	宿泊客	2,458.5	17.8	104.8	112.1	
総 数		13,800.2	100.0	102.5	342.6	
宿泊客延べ数		2,689.2	-	106.4	162.4	

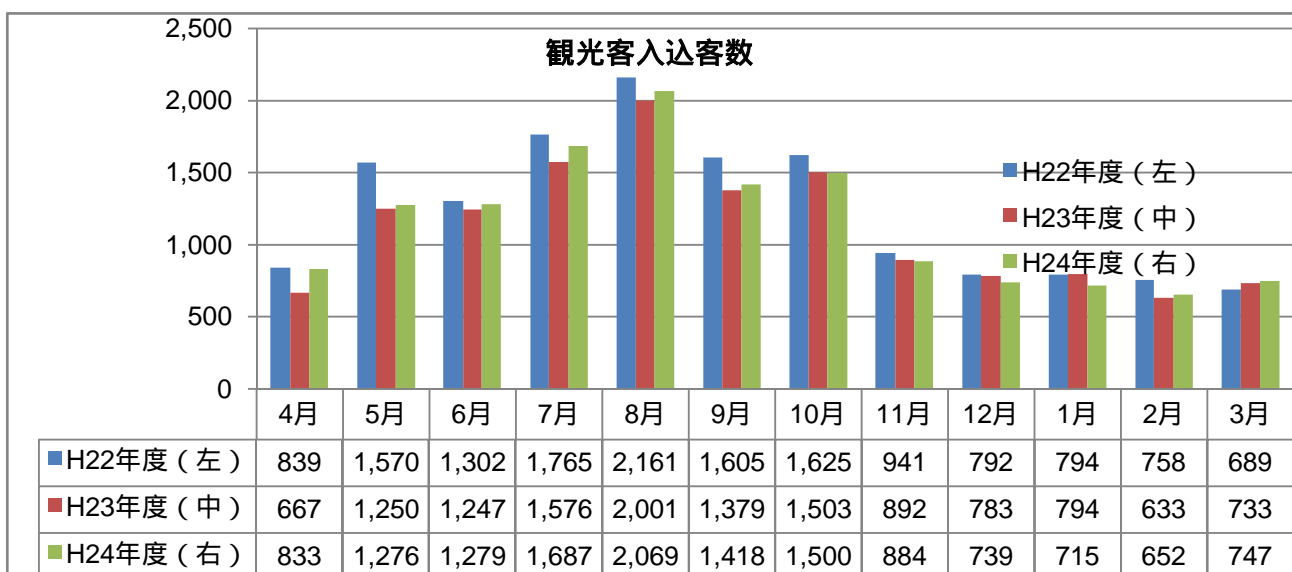
【参考2】胆振管内観光入込客数の推移 (H10年度～)

(単位：千人)



【参考3】胆振管内観光入込客数 月別の推移

(単位：千人)



## 2 市町別状況

### (1) 室蘭市

入込数：1,111.0 千人（上期：826.8 千人 下期：284.2 千人）前年度比 117.2%（+163.3 千人）  
（参考）平成 22 年度（1,097.6 千人）

上 期	下 期
<p>昨年の東日本大震災に起因する旅行自粛ムードや風評被害が薄れ、今年実施した「室蘭港開港 140 周年・市制施行 90 周年」の記念事業（SL の運行や旧室蘭駅舎 100 年祭など多数）が開催されたこと、期間中好天に恵まれることが多かったこと、また道の駅などの観光施設のリニューアルが好評だったことなどにより、上期全体の観光入込客数の増加につながったものと推測されます。</p> <p>前年度同期（703.0 千人）との比較では 117.6%（+123.8 千人）、平成 22 年度同期（844.2 千人）との比較では 97.9%（-17.4 千人）となっています。</p>	<p>年未年始は荒天の影響で、初日の出の人気スポットでもある地球岬展望台の入込客数が減少傾向にあった反面、上半期に引き続き、10 月の白鳥大橋ハーフマラソン・ウォーク、11 月の全国工場夜景サミット in むろらん等記念イベントの開催が下期全体の集客増につながった。また、道の駅「みたら室蘭」では、上期同様リニューアル効果に加え、室蘭ロケ映画パネル展や工場夜景パネル展を開催するなど、ソフト面での魅力向上によって入館者数増となった。これらが要因となり、下期全体の観光入込客数の増加につながったものと推測されます。</p> <p>前年度同期（244.7 千人）との比較では 116.1%（+39.5 千人）、平成 22 年度同期（253.4 千人）との比較では 112.2%（+30.8 千人）となっています。</p>

### (2) 苫小牧市

入込数：1,889.6 千人（上期：1,203.4 千人 下期：686.2 千人）前年度比 105.4%（+97.0 千人）  
（参考）平成 22 年度（1,678.2 千人）

上 期	下 期
<p>東日本大震災の影響で減っていた客足が回復したことが大きな要因として考えられます。</p> <p>また、5 月に開催されたマラソン大会や、夏場のスケート大会など、全道全国規模の大会が増えたことにより、入込数が増えたことも要因として考えられます。</p> <p>前年度同期（1,095.8 千人）との比較では 109.8%（+107.6 千人）、平成 22 年度同期（1,074.8 千人）との比較では 112.0%（+128.6 千人）となっています。</p>	<p>前年度同期と比べて大きな変動はなく、ほぼ横ばいの状況でした。</p> <p>前年度同期（696.8 千人）との比較では 98.5%（-10.6 千人）、平成 22 年度同期（603.4 千人）との比較では 113.7%（+82.8 千人）となっています。</p>

### (3) 登別市

入込数：2,844.9 千人（上期：1,601.8 千人 下期：1,243.1 千人）前年度比 106.9%（+183.7 千人）

（参考）平成 22 年度（3,042.3 千人）

上 期	下 期
<p>昨年は東日本大震災の影響により大幅に入込客数が減少しましたが、今年は昨年に比べて大幅に増加しました。しかし、震災前の平成 22 年度上期との比較では減少しています。</p> <p>一方、9 月は前年度同月比で減少していますが、これは 9 月上旬のイベントが悪天候で中止されたことや、昨年実施された特別イベントが今年は開催されなかったことが要因として考えられます。</p> <p>前年度同期（1,410.9 千人）との比較では 113.5%（+190.9 千人）、平成 22 年度同期（1,751.3 千人）との比較では 91.5%（149.5 千人）となっています。</p>	<p>下期の入込客数は、前年度と比べると 99.4%と横ばいとなりました。また、宿泊延数は震災の影響を大きく受けた前年度に比べ、大幅に増加しているものの、震災前との比較では完全な回復には至っていません。</p> <p>前年度同期（1,250.3 千人）との比較では 99.4%（7.2 千人）、平成 22 年度同期（1,291.0 千人）との比較では 96.3%（47.9 千人）となっています。</p>

### (4) 伊達市

入込数：1,471.7 千人（上期：763.6 千人 下期：708.1 千人）前年度比 74.0%（516.1 千人）

（参考）平成 22 年度（2,211.9 千人）

上 期	下 期
<p>観光入込客数調査の調査地点を見直したことにより、昨年に比べて大幅に入込客数が減少しました。また、大滝区地区の入込客数は昨年の 9 割程度にとどまり、東日本大震災などの影響がいまだに続いているものと考えられます。</p> <p>前年度同期（1,073.3 千人）との比較では 71.1%（309.7 千人）、平成 22 年度同期（1,164.7 千人）との比較では 65.6%（401.1 千人）となっています。</p>	<p>昨年に比べて入込客数が減少した要因として、観光入込客数調査の調査地点の見直しの影響があると考えられます。また、大滝区地区の入込客数についても、上期同様の状況と考えられます。</p> <p>前年度同期（914.5 千人）との比較では 77.4%（206.4 千人）、平成 22 年度同期（1,047.2 千人）との比較では 67.6%（339.1 千人）となっています。</p>

### (5) 豊浦町

入込数：351.2千人（上期：240.1千人 下期：111.1千人）前年度比99.5%（ 1.6千人）  
（参考）平成22年度（331.0千人）

上 期	下 期
<p>8月～9月の記録的な猛暑により、「森林公園」や「豊浦町海浜公園」、「礼文華海浜公園」などの野外施設への入込客数は増加したものの、6月の「いちご豚肉まつり」は悪天候のため来場者数が大幅に減少し、また5月に中山峠が通行止めとなったことなどにより、全体では昨年より若干減少しました。</p> <p>前年度同期（242.6千人）との比較では99.0%（ 2.5千人）、平成22年度同期（210.7千人）との比較では114.0%（+29.4千人）となっています。</p>	<p>11月は唯一の温泉施設である「天然豊浦温泉しおさい」のパイプに不具合が生じ営業休止などが派生したため、前年同月に比べ、20.9%となりました。一方、街の三大イベントである「まるごと豊浦北の収穫祭」は晴天にも恵まれ、来場者が前年度に比べ増加したことから、下期では0.8%増加しました。</p> <p>前年度同期（110.2千人）との比較では100.8%（+0.9千人）、平成22年度同期（120.3千人）との比較では92.4%（ 9.2千人）となっています。</p>

### (6) 洞爺湖町

入込数：2,241.4千人（上期：1,420.4千人 下期：821.0千人）前年度比111.0%（+221.3千人）  
（参考）平成22年度（2,461.8千人）

上 期	下 期
<p>東日本大震災や原発事故の影響により道外からの客足が遠のいたものの、道内客は安近短の傾向から入込客数は前年度同期と比べ、4月及び6月はプラスとなりました。訪日外国人宿泊者数は、東日本大震災や原発事故の影響だけでなく円高の影響も加わり、対前年度同期比34.6%となりました。</p> <p>前年度同期（1,291.5千人）との比較では110.0%（+128.9千人）、平成22年度同期（1,680.4千人）との比較では84.5%（ 260千人）となっています。</p>	<p>道外客については、集客の見込まれる週末に悪天候が重なった影響もあり、入込数の減少が見られるが、道内客においては東日本大震災後、自粛傾向であった観光の回復や、10月に新施設が開館したことも追い風となり集客増の要因となりました。外国人については、竹島・尖閣諸島などの領土問題により韓国、中国からの観光客が減少しているものの、台湾や東南アジアからの観光客の人気が高く増加傾向にあります。</p> <p>前年度同期（728.6千人）との比較では112.7%（+92.4千人）、平成22年度同期（781.4千人）との比較では105.1%（+39.6千人）となっています。</p>

### (7) 壮瞥町

入込数：1,518.3 千人（上期：1,036.0 千人 下期：482.3 千人）前年度比 117.9%（+230.8 千人）

（参考）平成 22 年度（1,576.9 千人）

上 期	下 期
<p>節電ムードなどの緊縮効果により、6 月～7 月は伸び悩みましたが、その後の本州の猛暑の影響や、道内では好天が続いたこと等が後押しして、入込客数は前年を大きく上回りました。また、東南アジアなど海外からの入込客数も堅調でした。</p> <p>前年度同期（824.1 千人）との比較では 125.7%（+211.9 千人）、平成 22 年度同期（1,055.6 千人）との比較では 98.1%（-19.6 千人）となっています。</p>	<p>海外客入込減が続き、また、冬期は例年になく大雪や豪雪による通行止めが影響し、特に 2 月は苦戦しましたが、景気回復効果が現れはじめています。</p> <p>前年度同期（463.4 千人）との比較では 104.1%（+18.9 千人）、平成 22 年度同期（521.3 千人）との比較では 92.5%（-39 千人）となっています。</p>

### (8) 白老町

入込数：1,700.6 千人（上期：1,024.8 千人 下期：675.8 千人）前年度比 98.8%（-21.1 千人）

（参考）平成 22 年度（1,762.3 千人）

上 期	下 期
<p>昨年は東日本大震災の影響により入込客数は減少しましたが、今年はアイヌ民族博物館などの町内の主要施設で入場者数が回復し、全体としても入込客数は昨年度よりも増加しました。</p> <p>前年度同期（1,022.8 千人）との比較では 100.2%（+2.0 千人）、平成 22 年度同期（1,020.6 千人）との比較では 100.4%（+4.2 千人）となっています。</p>	<p>長引く経済不況の影響による飲食店・みやげ店での全体的な落ち込みや宿泊施設等の閉館による入込調査対象施設の減少が目立ちました。</p> <p>前年度同期（698.9 千人）との比較では 96.7%（-23.1 千人）、平成 22 年度同期（741.7 千人）との比較では 91.1%（-65.9 千人）となっています。</p>

### (9) 安平町

入込数：340.2 千人（上期：216.0 千人 下期：124.2 千人）前年度比 101.5%（+5.1 千人）

（参考）平成 22 年度（326.3 千人）

上 期	下 期
<p>7 月に開催したイベント「あびら夏！ うまかまつり」への入込客数が昨年度を上回ったことなどにより、全体的に昨年度を上回る入込客数となりました。</p> <p>前年度同期（210.1 千人）との比較では 102.8%（+5.9 千人）、平成 22 年度同期（201.8 千人）との比較では 107.0%（+14.2 千人）となっています。</p>	<p>スキー場の利用者数は増えたものの、町内ゴルフ場及び町内入浴施設の利用者減に伴い、入込客全体数が前年度より減少しています。</p> <p>前年度同期（125.0 千人）との比較では 99.4%（-0.8 千人）、平成 22 年度同期（124.5 千人）との比較では 99.8%（-0.3 千人）となっています。</p>

### (10) 厚真町

入込数：138.8 千人（上期：102.5 千人 下期：36.3 千人）前年度比 92.2%（ 11.8 千人）  
（参考）平成 22 年度（138.5 千人）

上 期	下 期
<p>6 月に開催したイベント「あつま田舎まつり」の入込客数が、悪天候のため昨年度と比較して 9,000 人あまり減少したこと、町内の入浴施設「こぶしの湯あつま」の利用者数が約 1,000 人減少したことなどに伴い、前年度を下回りました。</p> <p>前年度同期（111.8 千人）との比較では 91.7%（ 9.3 千人）平成 22 年度同期（98.7 千人）との比較では 103.9%（+3.8 千人）となっています。</p>	<p>こぶしの湯改装工事（12 月）等により、宿泊数及び入浴客数が減少しました。</p> <p>前年度同期（38.8 千人）との比較では 93.6%（ 2.5 千人）平成 22 年度同期（39.8 千人）との比較では 91.2%（ 3.5 千人）となっています。</p>

### (11) むかわ町

入込数：192.5 千人（上期：127.1 千人 下期：65.4 千人）前年度比 96.0%（ 8.0 千人）  
（参考）平成 22 年度（213.6 千人）

上 期	下 期
<p>平成 23 年 10 月の道東自動車道開通により、国道 274 号線沿いにある「樹海温泉はくあ」の利用者数が激減したこと等により、観光入込客数は減少しました。</p> <p>前年度同期（133.8 千人）との比較では 95.0%（ 6.7 千人）平成 22 年度同期（138.5 千人）との比較では 91.8%（ 11.4 千人）となっています。</p>	<p>12 月～3 月の間、四季の湯利用者数は好調であり、前年比で数値が上回っていましたが、10 月の利用者数が大幅に減少しています。むかわ町の特産物である「ししゃも」が不漁だったことで、旬である 10 月にむかわ町を訪れる観光客が前年より少なかったことが大きな要因となっています。</p> <p>前年度同期（66.7 千人）との比較では 98.1%（ 1.3 千人）平成 22 年度同期（75.1 千人）との比較では 87.1%（ 9.7 千人）となっています。</p>